

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 西区
学校名 日吉小学校
学校長名 山本 勝巳

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・日吉小学校では、第6学年 147名

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率は、大阪市平均及び全国平均よりも低い。算数、理科の平均正答率は、大阪市平均及び全国平均よりも高い。平均無解答率については、3教科ともに、大阪市平均及び全国平均よりも低く、問題をあきらめずに解こうとする意欲がうかがえる。

なお、「国語、算数、理科の勉強は好きですか」に対して肯定的な回答をした割合は、国語は大阪市平均及び全国平均よりも高く、算数、理科は大阪市平均及び全国平均よりも低く、正答率とは相反する結果となった。

質問紙調査では、「学校へ行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的な回答をした割合は、大阪市平均及び全国平均よりも低い。「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して肯定的な回答をした割合は大阪市平均及び全国平均とほぼ同じで、高い結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の平均正答率は、大阪市平均及び全国平均よりも低い。「読むこと」は大阪市平均よりも高く、全国平均と同じだった。「知識・技能」の結果が低く、漢字や言葉づかい等が身についていないことが見られた。例年、正答率の低くなる記述式の問題形式では、今年度大阪市平均よりも高く、全国平均と同じであった。

〔算数〕 平均正答率はすべての領域で、大阪市平均及び全国平均よりも高い結果であった。中でも「図形」「変化と関係」では、正答率が5%程度高い。また無解答率も低く、質問紙での「解答時間は十分でしたか」に対して肯定的な回答の割合も高いことから、学力が定着していることがわかる。

〔理科〕 平均正答率は「粒子」を除く、「エネルギー」「生命」「地球」の3つの領域では、平均正答率で、大阪市平均及び全国平均よりも高い結果であった。「粒子」は大阪市平均よりも高く、全国平均とほぼ同じ程度だった。記述式の問題形式では、大阪市平均及び全国平均よりも高い結果となり、自分の考えを根拠をもって書く力が育ってきていることが見られた。

質問紙調査より

授業以外での学習時間を2時間以上している児童の割合が全国よりも多い。しかしながら、まったくしていないという割合は全国の2倍程度多く、学習に取り組む時間において児童の2極化が見られる。一人一台学習者用端末が整備され、特にコロナ禍での欠席児童への学力保証として、リモート学習を進めてきている。しかしながら、授業中にあまり活用されていない。

「主体的・対話的で深い学び」を校内では推進しているが、学級内では自ら課題を見つけたり、話し合い活動を通して考えを深めたりする機会が少ないことがうかがえる。どの教科においても「学習したこととは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の肯定的に回答した割合とも関連していると思われる。

将来の夢や目標を持っている児童、自分でやると決めたことをやり遂げようとする児童は、大阪市及び全国よりも高く、前向きに意欲をもって取り組もうとする児童が多いことがわかる。また、人の役に立ちたいと思っている児童も多い。しかしながら、コロナ禍の影響からか、困っている友だちを進んで助けたり、友だちと協力することを楽しいと感じる児童は大阪市及び全国よりも低く、友だちと関わる機会が希薄になっている現状がうかがえる。

今後の取組(アクションプラン)

国語では、友だちと交流して自分の考えや意見を発表する機会を多く設定し、「話す・聞く」能力の向上を目指す。

算数では、今年度より専科指導を進めており、問題解決の学習過程の定着を図る。また、ICTや家庭学習などを活用し、基礎基本の計算技能の定着をさらに図っていく。

理科では、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができるよう、実験や観察の活動の充実、またICTの活用を進めていく。

全体を通して、探求的に学習する機会を増やし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、指導を充実させていく。

まだまだコロナ禍による影響が大きく、学校生活で子どもたちに負担がかかることが多い。信頼関係を密にし、支えることで、不安を取り除いていくよう努める。また、今年度より校内での研究教科を学級活動とし、仲間との話合い活動を通して、より良い人間関係や相手を思いやる気持ちを育むことで、自己肯定感や自己有用感を高めることにつなげていく。

【 全体の概要 】

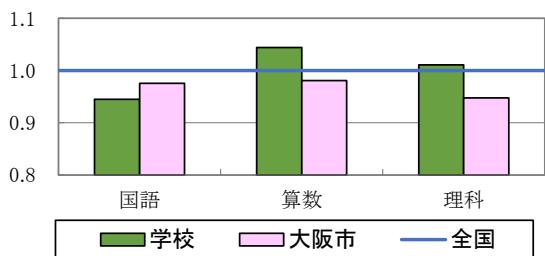
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	62.0	66.0	64.0
大阪市	64.0	62.0	60.0
全国	65.6	63.2	63.3

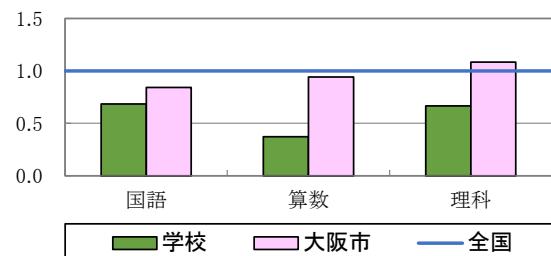
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	3.9	1.3	2.4
大阪市	4.8	3.3	3.9
全国	5.7	3.5	3.6

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



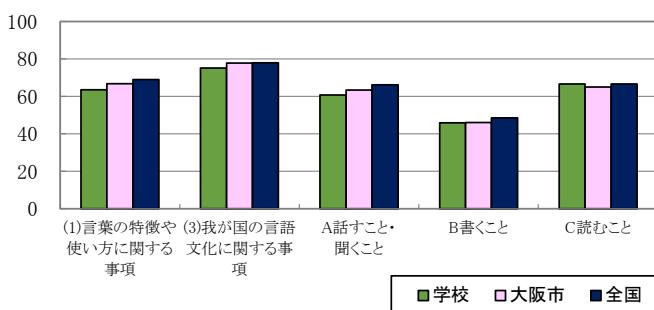
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	63.6	66.7	69.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	75.2	77.8	77.9
A 話すこと・聞くこと	2	60.7	63.4	66.2
B 書くこと	2	45.9	46.0	48.5
C 読むこと	4	66.6	65.0	66.6

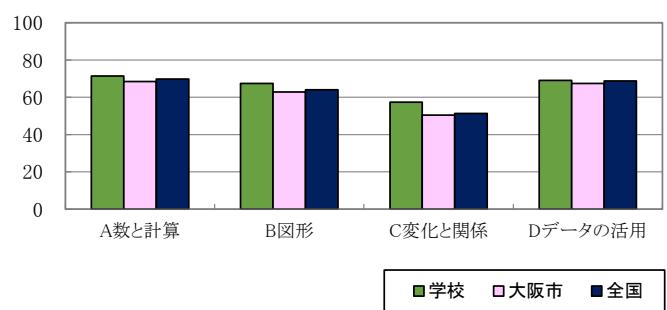
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	71.4	68.4	69.8
B 図形	4	67.4	62.8	64.0
C 測定	0			
C 変化と関係	4	57.4	50.5	51.3
D データの活用	3	69.0	67.5	68.7

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

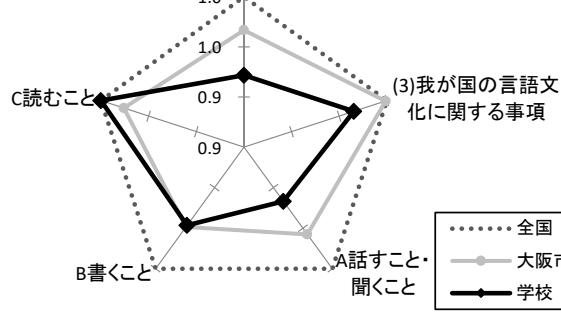


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項
(3)我が国の言語文化に関する事項



算数 領域別正答率(対全国比)

A数と計算

B図形

C変化と関係

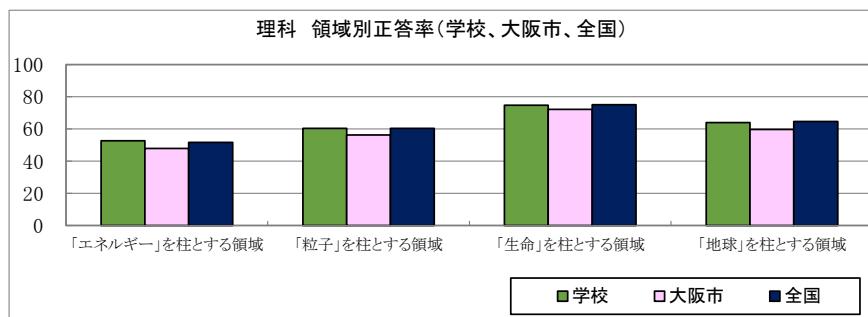
Dデータの活用

(3-1)

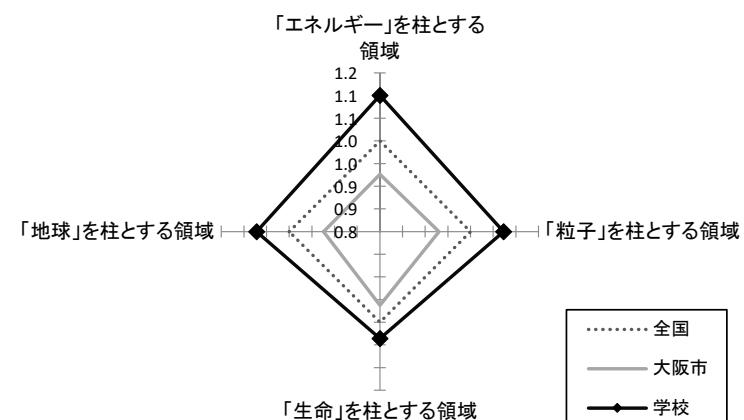
..... 全国
—●— 大阪市
—◆— 学校

【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	52.6	47.8	51.6
	「粒子」を 柱とする領域	5	60.3	56.2	60.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	5	74.8	72.2	75.0
	「地球」を 柱とする領域	5	64.0	59.7	64.6



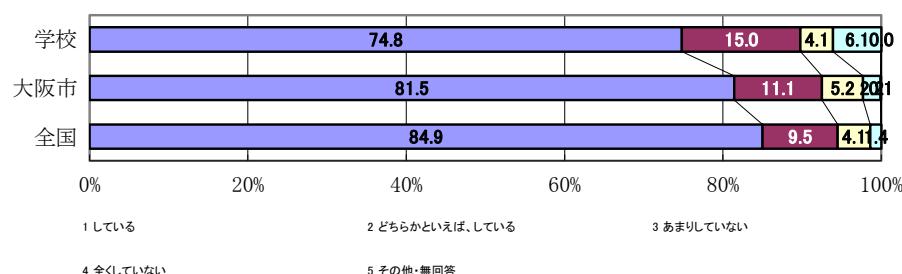
理科 領域別正答率(対全国比)



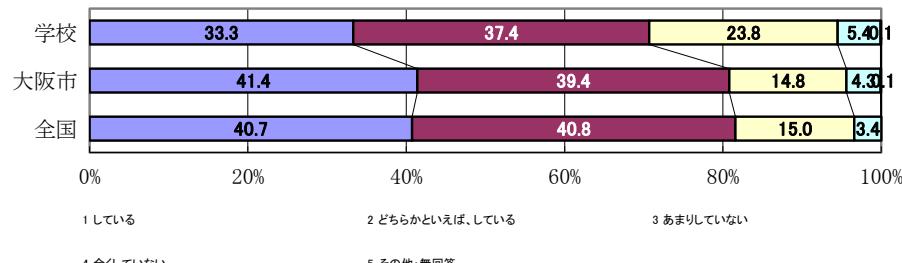
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

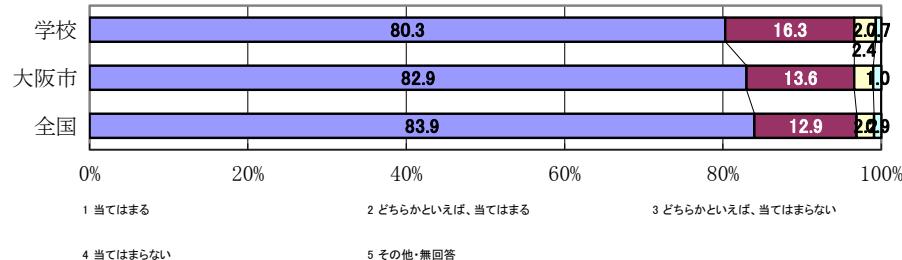
質問番号
質問事項
1
朝食を毎日食べていますか



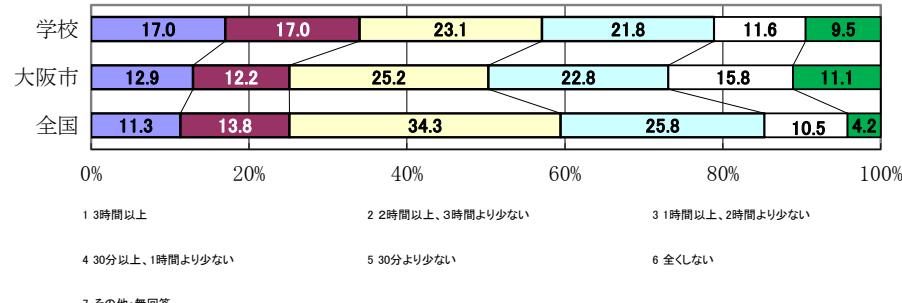
2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



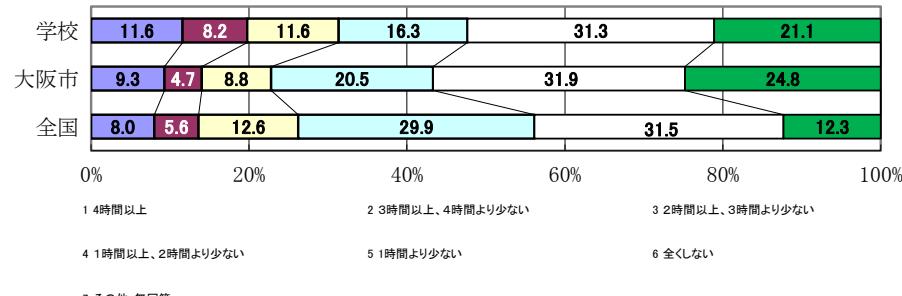
13
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



21
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



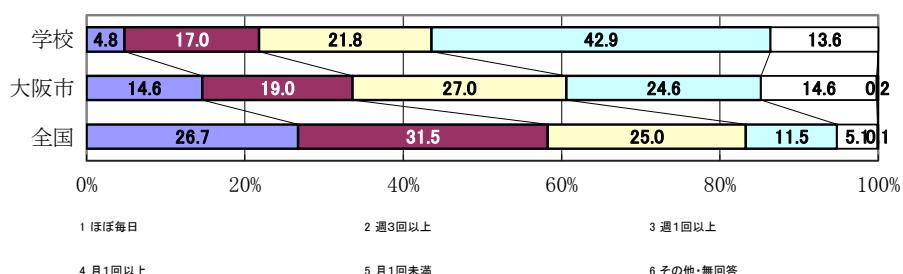
22
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



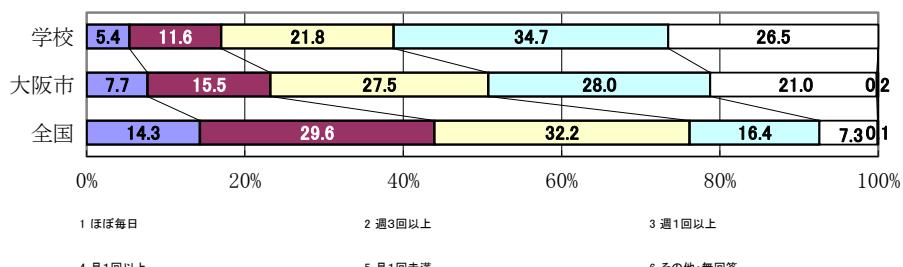
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

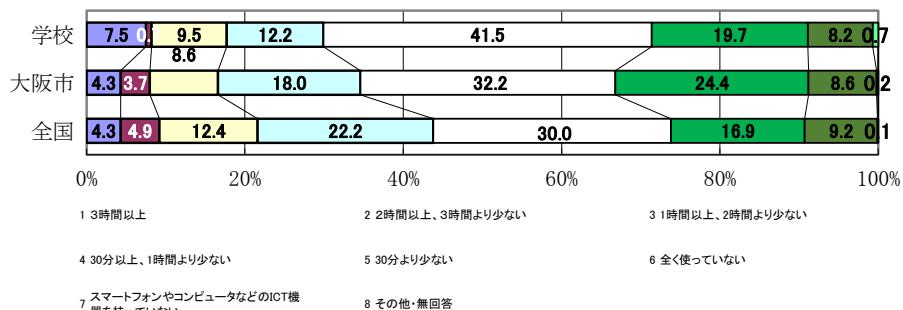
質問番号
質問事項
32
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



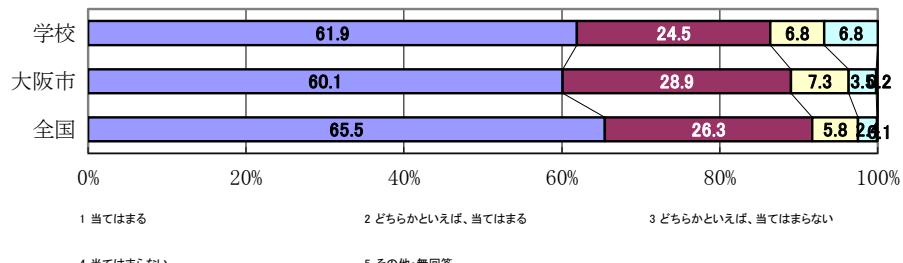
33
学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）



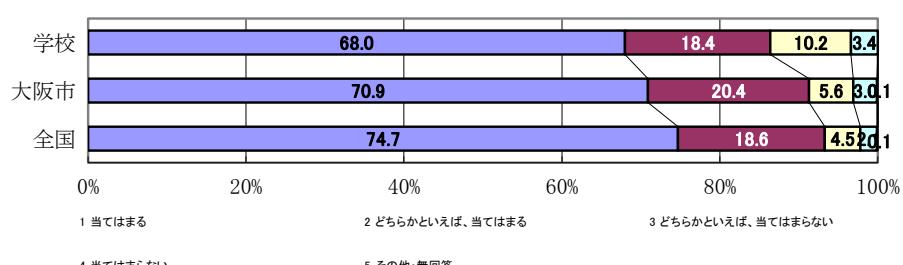
37
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか



52
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



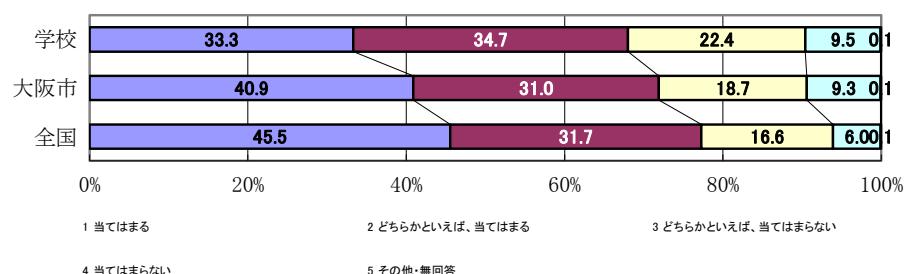
56
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



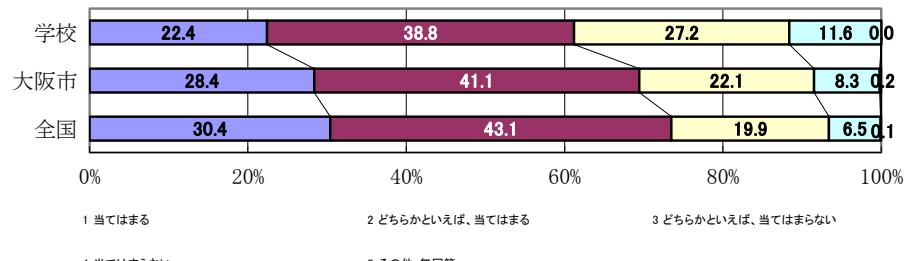
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

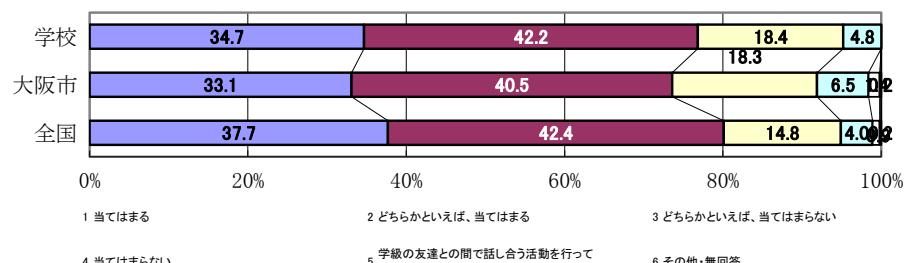
質問番号
質問事項
65
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



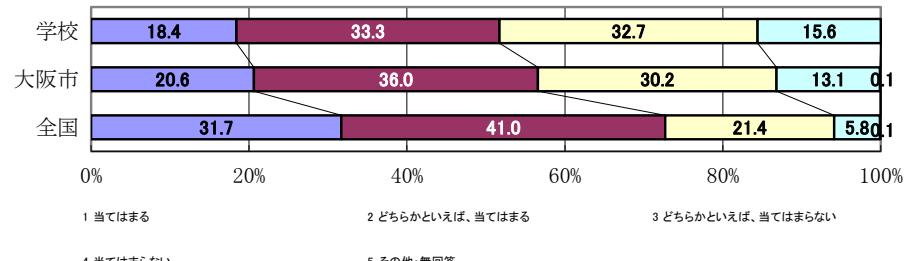
17
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



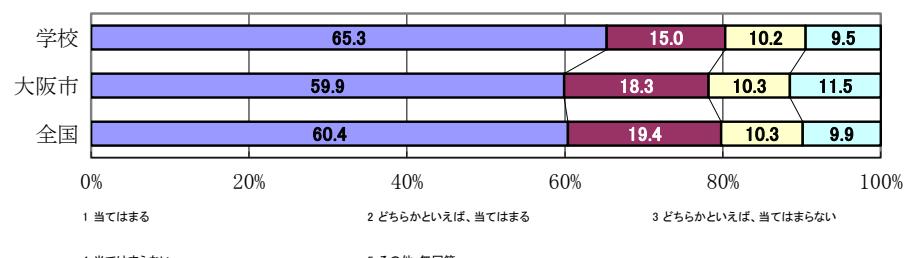
43
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



45
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



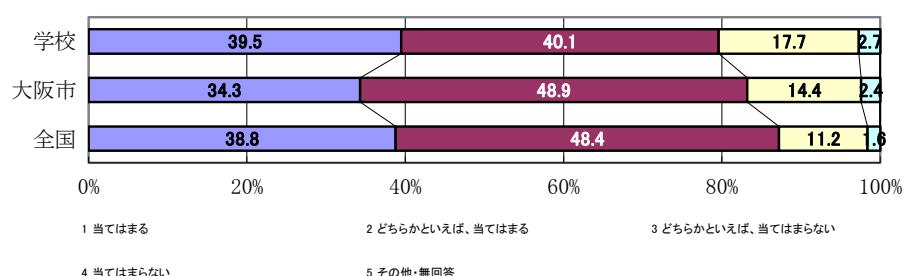
9
将来の夢や目標を持っていますか



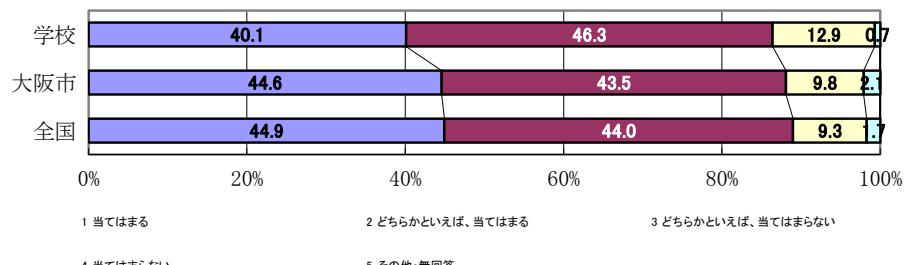
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

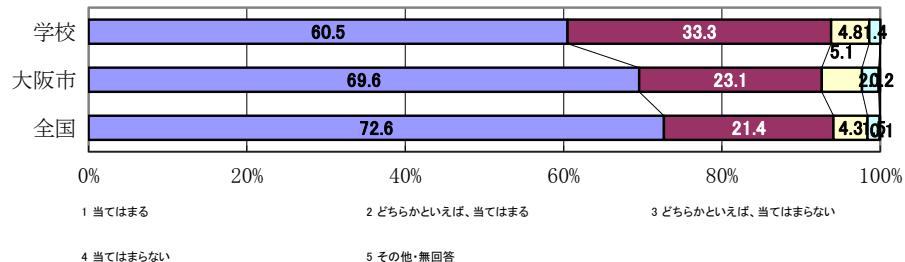
質問番号
質問事項
10
自分でやると決めたことは、やり遂げるようになっていますか



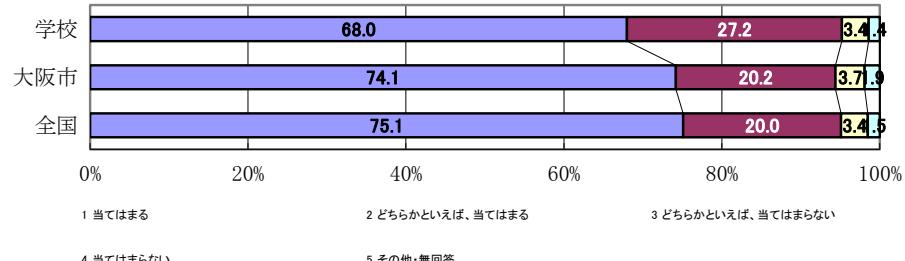
12
人が困っているときは、進んで助けていますか



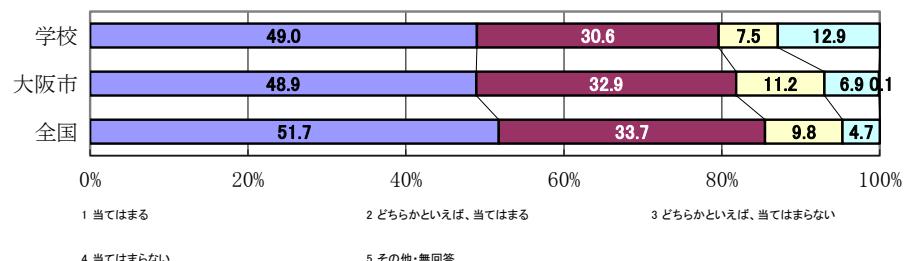
18
友達と協力するのは楽しいと思いますか



15
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



16
学校に行くのは楽しいと思いますか



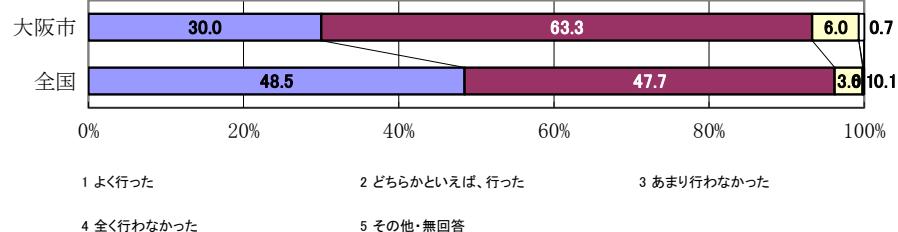
学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項
9

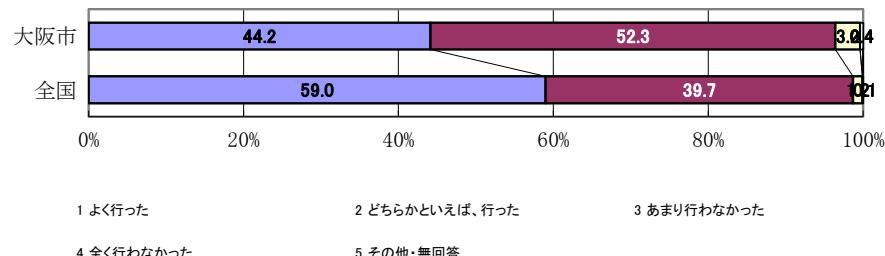
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



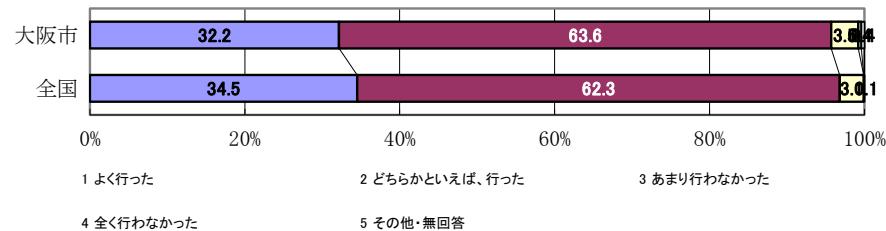
10
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか

学校 「よく行った」を選択



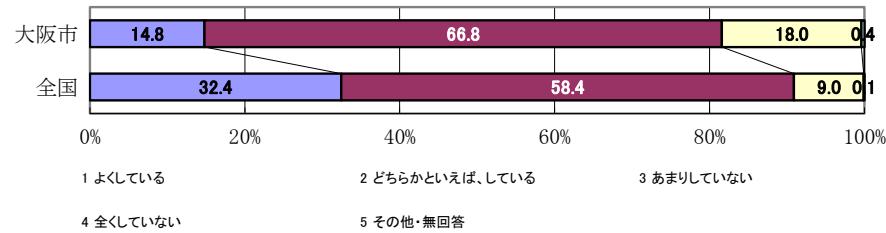
28
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



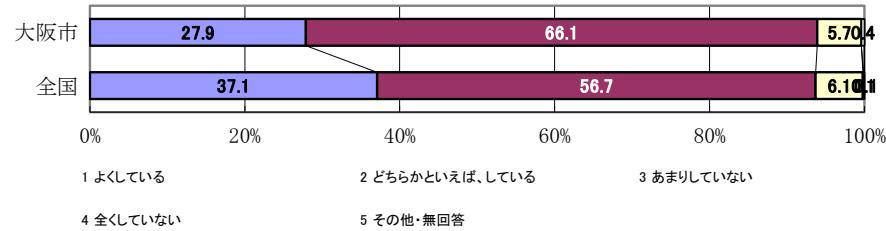
33
調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



34
調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



学校質問紙より

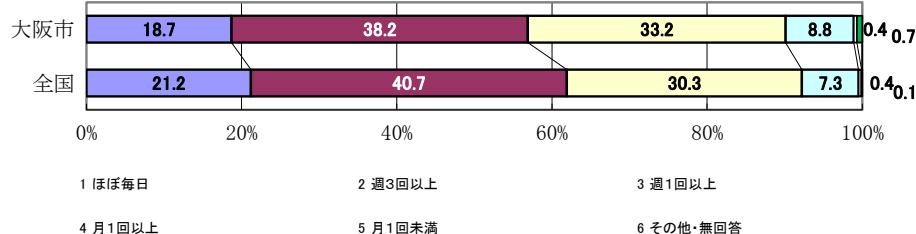
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

60

調査対象学年の児童が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

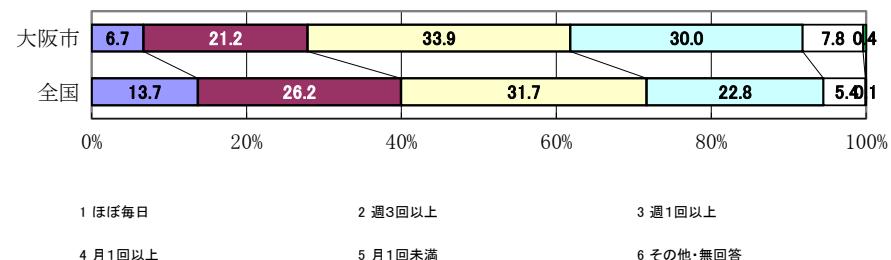
学校 「週1回以上」を選択



61

調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

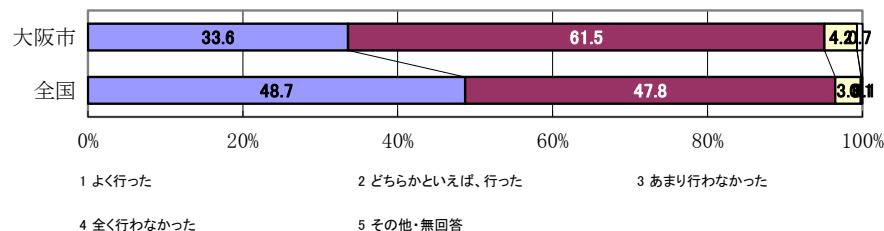
学校 「月1回未満」を選択



77

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

学校 「よく行った」を選択



78

調査対象学年の児童の保護者に対して、前年度までに、児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

